



村中 李衣 (むらなか りえ)

児童文学作家。

1958年山口県生まれ。1982年慶應義塾大学医学部病院管理学教室にて読書療法の研究に着手。小児病棟、養護施設、老人保健施設、刑務所などで0歳から100歳までの人々と絵本の読みあいを続けている。主な作品に『かむさはむにだ』（偕成社）、『こくん』（童心社）、『かあさんのしっぽぼぼ』『マネキンさんがきた』（以上BL出版）、『女性受刑者とわが子をつなぐ絵本の読みあい』（かもがわ出版）、『ねむろんろん』（新日本出版社）、『「こどもの本」の創作講座』（金子書房）など多数。『おねいちゃん』（理論社）で野間児童文芸賞、『チャーシューの月』（小峰書店）で日本児童文学者協会賞、『あららのはたけ』（偕成社）で坪田譲治文学賞、第1回日本絵本研究賞受賞など。ノートルダム清心女子大学非常勤講師。

【講師より】
「こども」を書くことは自分自身の奥に眠る原初の感情と向き合うこと。書く→直す→もう一度見る。その過程を経て生まれた一篇は、一冊の本という形で、時を経て残ります。本気で書きたい方向と静かで濃密な時間をともに過ごすことを願っています。



【テーマ】 「こども」の宇宙にあそぶ

こどもとは、何者でしょう。もとも身近でありながらもつとも不可思議な存在。無垢と残酷、想像と現実。光と影が同時に息づく、小さな宇宙。本講座では「こども」という存在に観察と言葉の力で本格的に迫ります。

定員：20名（定員に達し次第に締め切ります）
対象：高校生以上、全日参加を前提とします。
応募締切：2026年6月5日(金) ※必着
受講料(全4回)：一般8,000円 学生4,000円 高校生2,000円
【備考】



募集要項

・ある程度の創作経験をお持ちの方。
・すでに書いている方、これから本格的に書きたい方。
・「まだ自信はないが、本気で挑みたい」方。
本講座は、人物の内面や言葉の質感を掘り下げる文学的創作を基調とします。講師は児童文学の書き手ですが、受講生の挑むジャンルは問いません。

- (1) 観察文から出発する
まずは「見る」こと。こどものしぐさ、沈黙、視線、息づかい。観察文を書くことで、創作の核を掘り起こします。
- (2) シーンの焦点化と独自の解釈
どこを切り取るか。誰の視点で語るか。焦点の当て方ひとつで、こども像はまったく別のものになります。
- (3) 構成を練り、仮提出へ
素材を配置し、流れを設計し、一篇としての骨格をつくります。講師よりメールにて作品の核心に踏み込む個別指導を行います。
- (4) 全体講評と推敲の深化
最後の一段を上げるための具体的ポイントを共有し作品集に掲載する完成稿へと仕上げます。



講座内容

【備考】
講座の進行については、初回のオリエンテーションにて詳細を説明します。

創作：400字詰原稿用紙30枚以内の完成作品を仕上げます。
作品集：形態(紙冊子/PDF)は受講者と協議のうえ決定します。
【備考】
本講座は、作品集への掲載・公開を前提とした講座です。作品公開に同意いただける方のみご参加ください。制作費は別途ご案内します。



成果目標

【申込方法】

- ◇右記の応募用紙に記入のうえ郵送またはFAXにより申し込む。
- ◇上記のNPO法人アートファームのホームページより申し込む。
- ※電話でのお申し込みは受け付けておりません。

日程	2026年 第1回6月14日(日) 第2回8月30日(日)	第3回10月11日(日) 2027年 第4回1月17日(日)
時間	各回 13:00~16:00	
会場	吉備路文学館	岡山市北区南方3-5-35 TEL 086-223-7411
<p>【交通案内】 JR岡山駅から徒歩15分、車で3分 バスは、岡電バス(妙善寺・三野公園行)または宇野バス(美作方面行)で「南方交番前」下車北へ徒歩3分 車でご来場の方は、付近の有料駐車場をご利用下さい</p>		

【お問合せ/お申込み】
NPO法人アートファーム 文学クリエイター講座係
〒700-0823 岡山市北区丸の内1-1-5 栗山ビル402
TEL=086-233-5175 FAX=086-294-3764
E-mail=info@artfarm.or.jp
お申込み URL=http://www.artfarm.or.jp/jigyo_form/



【主催】
岡山市 岡山市文学賞運営委員会
公益財団法人吉備路文学館 特定非営利活動法人アートファーム

お名前			年齢		
ご住所					
Eメール			電話番号		
応募動機			創作経験	有	無